

国立駅周辺の自転車通行環境整備の方針

- ①大学通り（都道 146 号）
 - ・ 自転車専用通行帯が整備されており、この利用をさらに駐車場利用者に促す。
- ②大学通り以外の道路
 - ・ 自転車専用空間の確保は難しいため、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（2012.11 国土交通省・警察庁）における“車道混在”による通行環境の整備を行う。
 - ・ 整備方法は、自転車の通行位置を示し、自動車に自転車が車道内で混在することを注意喚起する“ビクトグラム”（法定外路面表示）の設置を行う。（右の事例写真参照）

南第1自転車駐車場への主な通行ルート

- ・ 下図は、既存の南第1自転車駐車場利用者のアンケート結果から、新設の南第1自転車駐車場への主な通行ルートを選定したものである。
- ・ これらの道路を中心に自転車通行環境の整備を進め、併せて自転車利用ルールの教育・啓発等のソフト施策を行っている。

<南第1自転車駐車場への主な想定通行ルート>



南第1自転車駐車場周辺の自転車通行空間整備の方針

- ・ 自転車の通行位置と通行方向を示すビクトグラムの設置を行う。（左側通行の遵守、逆走の防止）
- ・ 自転車駐車場周辺の歩道上では利用者は自転車を押す歩行者として、敷地内には歩道状空地を確保する。

<西1条線延伸部と同じ「自転車を除く一方通行道路」におけるビクトグラム設置の事例>



（品川区西大井）



（江戸川区西葛西）



（大田区池上）



（大田区池上）

自転車駐車場の管理体制

管理方法

- ・ 原則として、有人管理、利用時間帯は24時間とする。
- ・ 利用者が安心・安全に利用できるよう、防犯カメラの設置など、場内の防犯・安全管理体制充実にも努める。

料金体系

- ・ 一時利用：時間制課金制度（短時間無料を含む）の導入を検討する。
- ・ 定期利用：駅からの距離、二段式ラックの上下段など、きめ細かい料金設定を検討する。